

### Ⅲ がん相談支援

岡田 宏基

岡山大学医学部・歯学部附属病院 総合患者支援センター

キーワード：がん相談支援センター，総合患者支援センター，がん診療情報提供，  
患者図書室での情報提供

厚生労働省からの、「がん診療連携拠点病院の整備について」という通達の中には、情報提供体制として、地域がん診療連携拠点病院内に相談支援機能を有する部門（相談支援センター等）を設置すること、とされています。ここには、(1)専任者が1人以上配置されていること、(2)地域がん診療連携拠点病院内外の医療従事者の協力を得て、当該拠点病院内外の患者、家族及び地域の医療機関等からの相談の対応する体制を整備すること、と体制についての条件も記されています。

さらに、相談支援センターの業務としては、次のように示されており、非常に多岐にわたっています。

1. 各がんの病態，標準的治療法等がん診療に係る一般的な医療情報の提供
2. 地域の医療機関や医療従事者に関する情報の収集，紹介
  - 1) 医療機関の診療機能，入院・外来の待ち時間，訪問看護を提供した患者数等
  - 2) 医療従事者の専門とする分野，経歴，発表論文，医師あたり紹介患者数等
3. セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介
4. 患者の療養上の相談
5. 患者，地域の医療機関，かかりつけ医（特に紹介元・紹介先の医師）等を対象とした意識調査
6. 各地域における，かかりつけ医等各医療機関との連携事例に関する情報の収集，紹介
7. アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談
8. その他，相談業務に関すること

平成19年3月受理  
〒700-8558 岡山市鹿田町2-5-1  
電話：086-235-7744 FAX：086-235-7844  
E-mail：hokada@md.okayama-u.ac.jp

すなわち、相談支援センターの業務は大きく、相談と情報提供とに分けることができます。

このうち、がん診療における相談について、全国の実態調査を元に静岡がんセンターでは次のように15項目に分類しています（静岡分類）。①外来，②入院・退院・転院，③診断・治療，④緩和ケア，⑤告知，IC，セカンドオピニオン，⑥医療連携，⑦在宅医療，⑧施設設備・アクセス，⑨医療者との関係（現在の病院），⑩医療者との関係（他院），⑪症状・副作用・後遺症，⑫不安など心の問題，⑬生き方・生きがい・価値観，⑭就労・経済的負担，⑮家族・周囲の人との関係。

一方、岡山大学病院では、平成15年に設置された総合患者支援センター（<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~iscps/>）が患者からの相談窓口の役割を果たしてきました。総合患者支援センターの組織図は次に示すとおりですが、2名の医療ソーシャルワーカー（MSW）、1名の専任看護師、1名の専任医師（副センター長）をコアスタッフとして、院内各所と連携して療養や社会資源の利用に関する相談に対応するほか、オストメイト支援チームなど専門チームの設置とその活動支援、市民ボランティアの受入と育成、患者自己学習支援のための患者図書室の運営、遠隔医療支援などを行ってきましたが、最近では退院支援に力を注いできています。業務の主となる相談業務については、月に300件を越え、MSWと看護師長とはほとんど休みなく相談に応じている状況ですが、その中には、上に掲げた15項目に相当する内容も含まれています。特に、②、⑥、⑦、⑨、⑭、⑮などは相談の中でも大きな割合を占めています。このような院内の状況を鑑みて、がん診療に関する相談支援センターの窓口は総合患者支援センターとしました。相談内容に応じて、より医学的な相談については、腫瘍センター長始め腫瘍センター看護師や、各領域の専門医師に回答を依頼

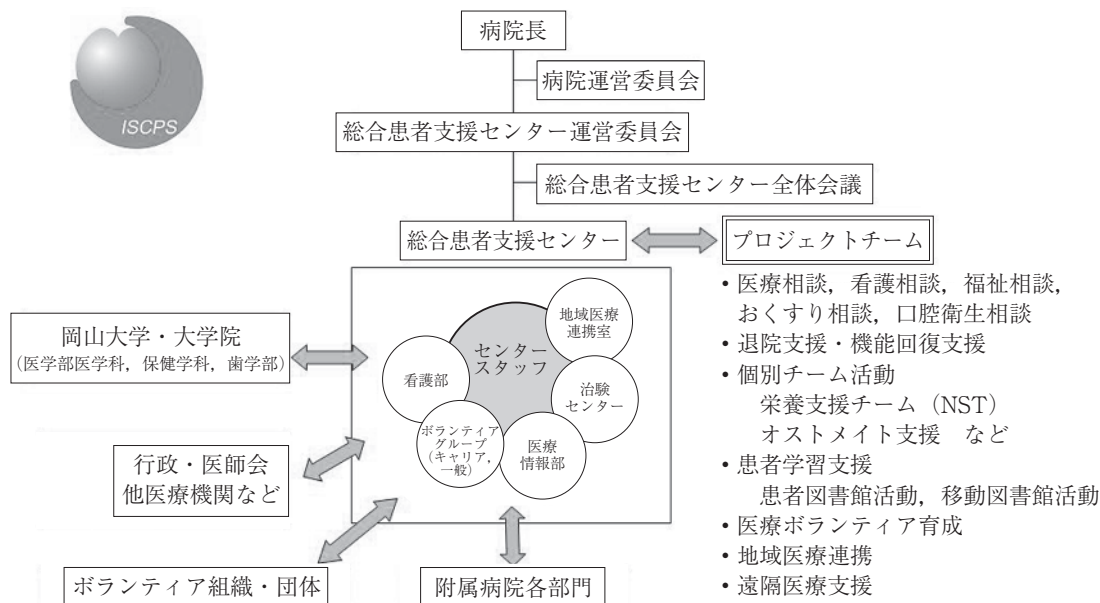
がん対策基本法と  
がん診療の均てん化  
特集

します。また、がんについては、特に④、⑤、⑫、⑬のように、心理的な問題を抱えている患者が少なくないと思われますが、幸いなことに臨床心理士を1名スタッフとして迎えることができましたので、今後はこのようながん患者のこころのケアにも取り組んでゆけるものと期待しています。

がん診療についての情報提供については、大きく、がんの診療についての一般的な事柄と、当院始め県内の医療機関でのがん診療への対応状況に分けられます。がんについての一般的な事柄は、当院に受診中の患者では南病棟1階にある患者図書室 (<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~iscps/library/patient-lib.html>) で調べていただくことができます。院外からの電話等でのお問い合わせについて、総合患者支援センタースタッフでお答えできない内容については腫瘍センターからの回答になりますが、腫瘍センターには専用電話回線(086-235-6968)も設置していますので、そちらにお問い合わせいただくことも可能です。

県内の医療機関のがん診療についての対応状況は、がん診療連携拠点病院とそれ以外の医療機関に分けられます。がん診療連携拠点病院は、文字通り、地域で

のがん診療と情報提供の拠点となるべく位置づけられている医療機関で、岡山県内には、当院、岡山済生会病院、岡山赤十字病院、倉敷中央病院、津山中央病院の5つが指定されています。これらの医療機関は、定期的に連絡協議会を開催して、がん診療についての情報交換と共有化に努めています。がん診療連携拠点病院についての情報は、国立がんセンターHPの一覧 ([http://ganjoho.ncc.go.jp/pub/hosp\\_info/hospital01/index.html](http://ganjoho.ncc.go.jp/pub/hosp_info/hospital01/index.html)) から参照することができます。県内の拠点病院についてはより詳細な情報をHP ([http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~iscps/t\\_center/index.html](http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~iscps/t_center/index.html)) 上で提供してゆきたいと考えています。さらに、拠点病院以外の医療機関におけるがん診療への対応状況や、緩和ケア、および在宅医療についての情報も、上述した連絡協議会を通じて収集し、上記HPにて提供したいと考えています。このHPでの現段階での掲載事項は暫定的なものであり、今後県内の医療機関等からのご意見・ご要望に応じて追加・修正してゆきたいと考えておりますので、ぜひ積極的なご意見をお寄せ下さるよう、よろしくお願い申し上げます。



総合患者支援センター組織図 (平成15年4月～)  
(ISCPS, Integrated Support Center for Patients and Self-learning)